

津市の観光地

令和3年版



旅館・レストラン・ゴルフ場は掲載していません

津市の観光地

旧 津 市	津城跡 津市丸之内 織田信長の北伊勢攻略後、弟の信包が、それまでの安濃津城を修築して天正8年（1580年）5層の天守を構えた。だが、関ヶ原の戦いの前哨戦で城主富田信高が東軍に組したため、城は西軍の猛攻にあって陥落。慶長13年（1608年）築城の名手藤堂高虎が伊勢・伊賀22万石を領して入封するに及んで、面目を一新する。平城で、天守は再建されなかったものの、石垣を高くし、堀を広げるといった改築がおこなわれた。城主も以後は、藤堂氏が襲して明治に至る。現在、城内には日本庭園と西洋庭園が造られ、藩校有造館の門が移築されている。◎織田信包（1543年-1614年）安土桃山・江戸前期の武将で、織田信長の弟。1568年に信長より北伊勢を与えられる。本能寺の変以後は豊臣秀吉に属し、伊勢国安濃津城主となる。◎藤堂高兌（1781年-1824年）津第10代藩主。藩財政の再建と文教の興隆に努め、藩校「有造館」を津に設立。また伊賀上野に「崇広堂」を開設。
	津偕楽公園 津市広明町147-1 藤堂高猷の山荘を公園にしたもの。自然の丘陵斜面を生かし花木岩石を配し、泉水をうがち八ツ橋が架かる。桜やツツジ・藤・紅葉と四季美しい。
	四天王寺 津市栄町1-892 059-228-6797 推古天皇の勅願により、聖徳太子が建立したと伝えられている。 戦火で荒廃と復興を繰り返していたが、安濃津城主だった織田信包が再建し、織田信長、信包の母でもある土田御前の墓がある。その他、藤堂高虎夫人（一色氏）、富田知信の子千代丸、斎藤拙堂など津にゆかりのある人物の墓がある。 昭和20年（1945年）7月28日、空襲で総門、中雀門、鐘楼以外はほとんど焼失したが、本堂と庫裏は戦後再建された。
	結城神社 津市藤方2341 059-228-4806 結城神社は後醍醐天皇を奉じて「建武新政」の樹立に貢献した結城宗広公を祀っています。ここは古くから結城の森と伝えられ、結城塚とか結城明神とよばれてあがめられています。結城宗広公の立派な墓碑があり、300本の華麗なしだれ梅でも有名です。
	津観音（観音寺） 津市大門32-19 059-225-4013 日本三観音の一つといわれ、藤堂氏の祈願所でもあった。
	三重県護国神社 津市広明町387 059-226-2559 三重県護国神社（みえけんごくじんじゃ）は、三重県津市にある神社（護国神社）である。 禁門の変・戊辰戦争から第二次世界大戦までの三重県関係の戦死者6万3百余柱を祀る。これらの祭神は靖国神社の祭神と基本的に重なるが、護国神社が独自で招魂したものであるから、靖国神社とは本社分社の関係にはないとされる。

高山神社	津市丸之内27-16	059-225-8558
藤堂高虎を祀る。「高山」は高虎公の法号。		
八幡神社	津市八幡町2339	059-228-3242
応神天皇を祭神とし、藤堂藩歴代の崇敬があつかった。結城神社周辺にある。津を開拓した藤堂高虎や港の守護神である住吉大神などが祀られ、静かで良い神社。		
蓮光院（初午寺）	津市栄町3-210	059-227-3632
津市にある寺で本尊は「馬頭観音」だが、「金剛界式大日如来坐像@重文」が展示されていた。鎌倉時代以降は円成寺で運慶が、石山寺で快慶が金剛界式大日如来坐像を作ったので、大日如来は鎌倉時代作からのイメージが強いが、平安の仏像はあり、ここは平安の大日如来代表と言えるかも。また、「阿弥陀如来坐像@重文」は優しいお顔で、浄土信仰の中心に大事にされた仏像であろうと想像させる。		
西来寺	津市乙部6-14	059-226-6860
天台真盛宗の別格本山、寺宝が多い。創建は1490年で新しい。真盛僧が滋賀・西教寺の支院の1つとして開かれたのが始まりとされ、仏像以外の仏教美術品@重文が多い寺。		
寒松院	津市寿町5-24	059-229-3170
藤堂高次の建立で藤堂家の菩提所であった。最盛期には末寺18ヶ寺を擁する大寺だったが、明治時代に入り津藩が廃藩になると次第に衰微し、太平洋戦争の戦禍によりほとんどが焼失する。現在では境内には歴代藤堂家の墓碑26基「藤堂家墓地」がある。		
MieMu 三重県総合博物館	津市一身田上津部田3060	059-228-2283
開館時間：・展示エリア（基本展示室・企画展示室）　　〔火～金〕午前9時～午後5時　〔土、日、祝〕午前9時～午後7時／・交流創造エリア〔休館日を除く全日〕午前9時～午後7時 休館日：毎週月曜日（祝日の場合はその翌日）／年末年始（12月29日～1月3日）／別途定める日（特別休館日：くん蒸など）		
三重県立美術館	津市大谷町11	059-227-2100
佐伯祐三、藤島武二等の日本近代絵画が中心。そのほか、曾我蕭白などの近世絵画、ムリーリョ、ピカソ、ダリなどのスペイン美術、モネやシャガールの油絵がある。公開：9:30～17:00（入館は16:30まで）休業：月 祝日の翌日、年末年始		
石水博物館	津市垂水3032-18	059-227-5677
伊勢商人・川喜田家が寄贈した美術工芸品。百五銀行の頭取であり、かつ陶芸家として名高い川喜田半泥子の作品を堪能できる博物館。作品そのものもさることながら、茶器につけられた銘や、掛け軸の書からも、半泥子の豊かな感性と人柄がうかがわれるように思います。		
高田本山専修寺	津市一身田町2819番地	059-232-4171
600以上もの寺院を数える、真宗高田派の総本山。寺内には親鸞上人の木造を中央に暦代上人画像をまつた巨大な御影堂や如来堂、山門、唐門、また、宝物館には親鸞上人の直筆など、多くの国宝、重要文化財があり、史跡名称の専修時庭園には茶席安楽庵があります。		

専修寺宝物館	津市一身田町2819	059-232-4171
専修寺が誇る親鸞聖人真蹟の数々を収蔵する宝庫。昭和37年の宗祖700回大遠忌法要を記念して建造されました。展観室と収蔵室の二棟があり、とくに収蔵室は厳重な防湿構造です。		
高田本山専修寺庭園	津市一身田町2819	059-232-4171
高田本山専修寺境内にあり、事前申込みが必要だが、お七夜期間は無料で拝観できる。見どころは茶室「安楽庵」で、千利休の長男・道安と織田有楽斎の合作。織田有楽斎は織田信長の弟であり国宝の茶室「如庵」の作者でもある。		
一身田寺内町	津市一身田	059-233-6666
津の北部一身田に真宗高田派の本山専修寺がある。かつて、この寺院を中心に寺内町がつくられた。寺内町は、東西500m、南北450mの不整な長方形で、その北西部、ほぼ半分近いスペースを専修寺が占めている。現在、残る古い民家は、江戸末期から明治期にかけての建築だが、町並みの中心は向拝前筋で、平入の町家が多く残っている。また遊興街だった橋向は、水茶屋としてにぎわった当時の面影もみられる。一身田寺内町の地域の歴史、文化財などを紹介している「一身田寺内町の館」がある。		
津なぎさまち	津市なぎさまち	
中部国際空港セントレアからの海の玄関口。旅客船ターミナルと賑わい施設「ベシスカ」。最新高速船で津なぎさまち～セントレア港が45分。快適なクルージングが楽しめます。「ベシスカ」にはレストランなどがあり、挙式やパーティーにも対応できます。		
御殿場海岸	津市藤方	
伊勢湾に面した遠浅で白砂青松が約1,100m続く、春から夏にかけては海水浴のほか、潮干狩りや地引網、遠浅ならではの漁法・たて干しも楽しめます。		
鎌切古墳	重県津市野田	
全長約50mの前方後円墳である。市指定史跡。		
高井古墳	津市片田町	
横穴式石室をもつ後期古墳。昭和31年に発掘調査されたもの。		
ガラス工房 MIKI 津工房	津市桜橋3-300	059-223-0707
ようこそガラス工房M I K Iへ♪当店はサンドブラスト（圧縮空気圧と砂・サンドでガラス等の表面を彫刻）の技法を使ってひとつひとつ心をこめて手作りして、世界にたったひとつのオリジナルギフトを製作・販売しております。各種記念品（創立記念や出産お祝い）とブライダル・引き出物などをご用意しております。サンドブラストアートスクールでは子供から大人まで楽しめるカリキュラムをご用意しておりますので、ご自分でも簡単にサンドブラストを体験できます。各種イベントなど出張教室も行っています。		
忠盛塚	津市産品	
伊勢平氏ゆかりの地。平清盛の父、忠盛が生まれた時に、その胞衣が埋められた場所といわれる。長谷山へのハイキングコースの中間地点に位置し、塚を中心に公園が広がる。		

平家発祥伝説地	津市産品	
忠盛塚ともいう。忠盛が産湯を使ったという産湯池も残っている。		
津ヨットハーバー	津市津興字港中道北370	
伊勢湾沿岸中央に位置している「津ヨットハーバー」では、初心者から楽しめるヨット教室や、国家試験合格のためのボート免許教室などが開かれている。またヨットのレンタルなども行っていて、多目的に活用することができる。伊勢湾は一年を通じて穏やかな海面なので、マリンスポーツをするには最適だ。大海原をステージにマリンスポーツを体験！		
おやつタウン	津市森町1945-11	0570-08-2114
子どもも大人も「遊べる・学べる・創れる」みんなが笑顔になれる場所 ・「ホシオくんキッチン」でオリジナルのおやつを作って楽しく学ぼう☆ ・「おやつ広場」にはみんなで楽しめるアトラクションがいっぱい☆ ・「ベビースターダイニング」でベビースターを使った本格料理をお楽しみください☆ ・「おやつマルシェ」でおやつタウンでしか手に入らないおやつを手に入れよう☆ ・「ベビースター」「ホシオくん」ブタメン」は株式会社おやつカンパニーの登録商標です。		
レッドヒルヒーサーの森	津市高野尾町2877	059-230-7789
シャクナゲを中心とした約1000品種・1万本以上の草花が楽しめる栽培見本農場。長年に亘る造成によって日本の風土に合った四季を楽しむ里山庭園へと蘇った。シンボルツリーのセンペルセコイアは、「世界一のっぼの木」で知られており、別名はレッドウッド。この木が数多く育つ里山は「レッドヒル」と命名された。園内は、センペルセコイアの「森のエリア」と、ローズガーデンや睡蓮池のある「花のエリア」の2つのゾーンに分けられ、レストランや物産品の直売施設も併設。どの季節でも誰もが心地よく楽しめる。		
阿漕塚	津市津興	
母の病を治すため禁漁の阿漕浦でヤガラを捕ったため罰せられた平治の霊を祀る。語句の「阿漕」（情け容赦ない）の語源となった。謡曲「阿漕」、浄瑠璃「あこぎの平治」の題材となって名高い。		
塩見坂の桜	津市稲葉町	
地元の人々の手で育てられ現在では立派な約120本の桜並木に成長しています。見事でした。		
斉藤拙堂居宅跡碑	津市鳥居町	
江戸の津藩邸に生れ、儒学・漢学を学んだ。津藩校の創立により津に移り、督学として生涯を郷党の教育に尽した。著書『拙堂文集』『月瀬記勝』など。		
磨洞温泉	津市半田2860-1	059-228-8413
100年程前に磨き砂を採掘した延べ8kmの洞窟内にある。真夏で20℃、冬は18℃という恵まれた環境で、砂から出るオゾンがエアークリーナーの機能を果し、空気を清浄にしている。洞内では西洋松茸が栽培されており、貝のバーベキューや山賊焼と共に豊富な味覚が楽しめる。		

かざはやの里 かっぱのふるさと	津市戸木町4096	059-255-5755
「かざはやの里」は周囲8kmに及ぶ「風早池」のほとり、約70,000㎡の丘陵地の「伊勢温泉ゴルフクラブ」の中にあります。「風早池」は垂仁天皇が紀元35年冬10月、全国に作った800の灌漑池のひとつです。戦国時代には津城藩主「藤堂高虎」が灌漑工事を手掛けた土地に「風早」とつけたことから「風早池」と名付け、現在も県内有数の田畑の水資源となっています。 2004年より社会福祉法人「正寿会」障がい者施設の利用者と職員が協働して「梅、藤、あじさい」の剪定・追肥・除草・土壌改良、整備、運営管理をしています。日本で初めて園芸福祉を取り入れた花園として環境と福祉の融合に取り組んでいます。 「梅」は「寒紅梅」「道しるべ」「白加賀」「鹿児島紅梅」「紅千鳥」「日光梅」「紅鶴」「豊後梅」「湊紅梅」「小梅」「南高梅」「思いのまま」「淋子梅」など45種類500本が2月上旬～3月下旬に10,000㎡の緑の芝生の絨毯の中に開花します。 「藤」は「白甲比丹藤」「紫甲比丹藤」「紅藤」「口紅藤」「六尺藤」「九尺藤」「長崎一歳藤」「八重黒龍藤」「黒龍藤」「白野田藤」の10種類1800本が4月下旬～5月上旬に8,000㎡、8種類の藤棚に開花します。 「あじさい」は「セルマ」「シャローナ」「セリーナ」「サンドラ」「サブリーナ」「ソラヤ」の「かざはやの里」でしか見ることの出来ない品種と「青てまり」「白てまり」「ピンクてまり」「すみだの花火」「スカイブルー」「マリンブルー」「ツカサブルー」「チャプリット」「サンガイア」「レッドセンセーション」「恋路が浜」「カスラリンピンク」「ウズ」「紅額」「青額」「白額」「七段花」「城ヶ崎」「十二単」「姫あじさい」「アナベル」など39種類がデザインしたあじさい花壇と大斜面の33,000㎡に75,000株が6月上旬～7月上旬に色づきます。 キジやウグイスの鳴声の中、散策が出来きます。日常生活では見ることのできない「癒しの花景」の別世界を3世代のご家族お揃いで、お楽しみ下さい。		
津市水道資料館	津市片田薬王寺町351	059-237-0841
水に関する展示、不思議な水の旅が始まる。		
渋見城跡	津市渋見町字城	
渋見城は乙部兵庫頭藤政が織田信長の侵攻に備えて築いた城です。1570年（永禄13年）、信長の弟である織田信包に攻められ落城しました。現在城址は「渋見砦跡公園」として整備されており、石碑と案内板が建てられていますが、遺構は残っていません。		
上津部田城跡	津市一身田上津部田	
上津部田城の詳細は不明です。1989年（平成元年）から3回にわたっておこなわれた発掘調査の結果から、戦国時代に築かれ、数十年ほど使われていた城であることはわかっていますが、城主などについてはわかりません。現在、「三重総合文化センター」内に復元整備された城址があります。		
川方城跡	津市川方町	
川方城は北畠氏の分家である木造城主・木造政宗によって築かれ、弟の康親に与えられた城です。康親は川方氏を称しました。1584年（天正12年）に羽柴秀吉と織田信雄が対立すると、秀吉方の蒲生氏郷の軍勢によって落城させられました。現在城址は宅地化されており、遺構はほぼ確認できません。		

旧津市	木造城跡 津市木造町字城 木造城は木造顕俊によって築かれた城です。顕俊は北畠顕能の次男で、木造城を築くと木造氏を名乗るようになりました。1569年（永禄12年）の織田信長による伊勢侵攻の際には織田氏に従い、南伊勢侵攻の案内役を務め、北畠氏の養子になった信長の次男・信雄に仕えました。現在、城址は水田の中に土塁がわずかに残る程度ですが、案内板と石碑が建てられています。
	小森上野城跡 津市城山2丁目 天文年間（1532～55）の末頃、長野工藤氏との争いの北上戦の前線にあった。 具教は迎撃態勢の一環として小森上野城には藤方御所一族と北畠小原具就を置いて長野工藤氏と戦った。 永禄年間（1558～70）のはじめ長野氏は北畠氏と和議を結び北畠具教の次男具藤を養子に迎えたことで長野氏、雲林院氏ら工藤一族は北畠氏の幕下に属した。
	八町 津市八町 津城下の西端を八丁（八町）と呼んだが、古くから津と上野を結ぶ伊賀街道沿いの町として開けた。江戸店持ち商人や学者・文人などの住宅もあり、津の生んだ一世の碩学、谷川士清の旧宅をはじめ、古い町家が今も八町通りに残っている。
	谷川士清旧宅 津市八町3-9-18059-225-4346 本居宣長と共に国学者として名高い谷川士清の旧宅（国指定史跡）で、八町通りに並ぶ長屋風建物。
	反古塚 津市押加部町 国学者谷川士清が草稿をうずめるため築いた塚。
旧榊原	榊原温泉 津市榊原町湯の瀬059-252-1800 津市の西端、布引山脈の山ふところに抱かれ、湯の瀬川のほとりに湧く温泉である。古くから良泉としてのきこえが高く、清少納言が枕草子で「湯は七栗の湯、有馬の湯、玉造りの湯」とたたえている。その七栗の湯がこの榊原温泉にあたるといわれる。泉質はアルカリ性単純泉、温度34.5℃、創傷・皮膚病・婦人病に効くという。近年旅館も近代化され、青山高原への登山基地として訪れる人も多い。◎ふれあいの里・湯の瀬は、榊原町にある、平安王朝の雰囲気漂わせた温泉保養館。露天風呂・寝湯・圧注浴・うたせ湯など11種類の風呂や箱蒸サウナなどが楽しめる。テニスコートや、カラオケのある休養室もある。10時～21時（受付は20時まで）、火曜休（火曜が祝日の場合翌日休）。
	榊原温泉の桜 津市榊原町 榊原自然の森温泉保養館「湯の瀬」では4月上旬から中旬にかけて桜が満開を迎えます。また、同時期、菜の花も見頃を迎えます。湯の瀬多目的広場では、毎年地元主催の「榊原温泉桜まつり」が開催されます。
	海泉寺 津市榊原町10477059-252-0447 寛政8年（1796年）に起こった県内最大の農民一揆「寛政の一揆」の遺品が残る寺。
	林性寺 津市榊原町5105059-252-0405 毎年3月14～16日には、日本に3幅しかない猫の描かれた涅槃図が公開されています。また、精進料理を楽しむことができます。（要予約）

旧 榊 原	射山神社 津市榊原町5073 059-252-1024 もとは貝石山の八合目に祀られていたのですが、今の地にうつされました。祭神は温泉大明神とよばれる大己貴命（おおなむらのみこと）、少彦名命（すくなひこなのみこと）です。境内には御神水「長命水」が沸いている。伊勢神宮に供える榊を浸す特別の水として知られている。天皇の代理として京都から伊勢行幸する斎王が、この地で神に供える榊を探した。そしてこの地で自生する榊を見つけ「長命水」に一晩浸し、伊勢へと運んだそう。現在でも、毎年ここの榊が伊勢神宮へと奉納されている。
	榊原ふるさと公園 津市榊原町 小さいが梅桜の木がたくさん植樹しており、春には彩りを添える。桜の時期には、花見客でいっぱいになります。公園の入口近くの丘にある西田半峰氏の記念碑が立派でした。
	久居榊原風力発電施設 津市榊原町 地球環境にやさしい風力発電。最長75メートルもある風車がゆっくりまわっている姿は、ノスタルジックなやすらぎを感じさせてくれます。
	貝石山 津市榊原町 榊原温泉近くの貝の化石の出る山。南側の岩が露出した壁面に貝の化石が多数露出していて面白いです。天然記念物に指定されています。
	榊原の大滝 津市榊原町 布引山系（青山高原）から出る湯之瀬川源流にかかる滝。
	榊原城跡 津市榊原町 榊原城は北畠氏の家臣である榊原氏の居城として知られています。北畠氏が滅亡したのちは織田信長に属しました。その後、織田信包が上野城を居城とすると、榊原三左衛門尉も中山へ移り廃城となりました。なお徳川四天王のひとり、榊原康政はこの榊原城主の家系とされ、三河へ移った榊原長政の次男として三河国上野郷で生まれました。現在城址にはほとんど遺構は残っていませんが、榊原小学校の裏にある登城口付近に横堀を確認することができます。
旧 久 居 市	千手院賢明寺 津市久居元町2059 059-255-2312 子宝と縁結びの寺として信仰を集める。毎年2月3日に節分会式と人形供養、8月中旬に無病息災を願う伝統行事「茅の輪（ちのわ）くぐり」、11月23日には人形供養が行われる。
	高通児童公園(久居陣屋) 津市久居西鷹跡町 津藩主藤堂高虎公の孫高通が宗家から分かれ久居藩を立てたがその藩主御殿跡。
	つブルーベリーファーム 津市戸木町3892 090-6617-4920 全面木材チップのブルーベリー園です。2017年度で7回目の開園となります。今年は6月7日に開園します。お客様には当園の目玉品種が勢ぞろいする、梅雨の前のご来園がお勧めです。当園はハイブシュ系ブルーベリーが全体の6割を占め、6月が収穫の中心になります。より自然に近い状態での栽培を目指していますので、ナチュラルな果実がお届けできればと思います。ブルーベリー狩りもできます。

旧 久 居 市	戸木城跡 津市戸木町 戸木城は木造具政が隠居所として築いた城です。具政は織田信長が伊勢に侵攻して来ると、長兄・具教に背いて信長に臣従し、北畠家の養嗣子となった信長の次男・織田信雄の家老となっています。「本能寺の変」後も信雄につかえ、1584年（天正12年）の「小牧・長久手の戦い」では羽柴秀吉方の蒲生氏郷率いる軍勢が攻め寄せる中、戸木城に籠城しましたが、信雄が秀吉と和議を結ぶと、城から退去しました。現在城址には戸木小学校が建てられており遺構はありませんが、1977年（昭和52年）におこなわれた発掘調査では堀跡などが発見されています。
	宮山城跡 津市戸木町敏太 宮山城は木造具政によって戸木城の北方面に備えた出城（支城）として築かれた城です。1584年（天正12年）の「小牧・長久手の戦い」の際、木造氏は織田信雄方につき、羽柴秀吉方の蒲生氏郷に攻められ落城しました。このときに城は改修され、戸木城攻めの拠点になりました。敏太神社の裏山が城跡で、山頂付近に土塁や堀などの遺構が残されています。
	城山城跡 津市戸木町 詳細不明。西に近接する宮山城とともに天正12年(1584年)蒲生氏が戸木城に籠もった木造氏を攻めたときの陣城の一つと考えられている。城山城は風早池の南東にある比高10m程の南へ伸びた丘陵に築かれている。 ほぼ平地にちかい丘陵部に土塁と横堀を巡らせた副郭の城が築かれており、折れを伴う技巧的な城であったことは一目瞭然である。ただ後世の改変が大きく、土塁は崩れ、堀は浅くなり、往時の縄張を復元するのは簡単ではない。 すぐ近くにも技巧的な縄張を持つ宮山城があり、関連する陣城の一つと考えられる。
旧 白 山 町	猪の倉温泉 日帰 しらさぎ苑 津市白山町佐田2643 059-262-4126 青山高原のふもとにあり、自然を満喫できる温泉。
	ループル彫刻美術館 津市白山町佐田1957 059-262-1111 ループル美術館の複製品各種展示
	大観音寺 津市白山町佐田1957 059-262-1717 すべての人々が金運財運に恵まれ、豊かで幸せな人生が送れることを願った、喜びとやすらぎの心の聖地です。当寺ではあらゆる霊場を併設しており、一山を巡られますと、開運招福と財運に恵まれる功德があります。
	南出白山比め神社 津市白山町南出851 059-262-7021 加賀白山神社の分霊を勧請・奉祀したのが始まり。
	川口白山比め神社 津市白山町川口7120 059-224-2999 賀白山神社の分霊を勧請・奉祀したのが始まり。
	青山高原 津市・伊賀市 青山峠付近の高原で眺望が見事。ツツジ、アセビススキの名所。

旧白山町	東青山四季のさと 四季折々の花，芝生広場，昆虫の散歩道のほか，バターゴルフなど楽しめる。	津市白山町上ノ村北谷1025	059-262-4612
	青山高原保健休養地キャンプ場 室生赤目青山国定公園，青山高原南端の丘陵，洒落た別荘が点在する林の中にキャンプ村やバンガロー村が同居する保養地。高原の涼気の中，スポーツ心を充たしてくれる施設も完備。	津市白山町伊勢見4	059-269-3226
	リバーパーク真見 滞在型市民農園と水辺公園を併設する。雲出川沿いの自然豊かな景観の中、バーベキュー グラウンドゴルフ 夏場の流しそうめんなど友達同士、ご家族でも一日自然を満喫できます。	津市白山町真見871	059-262-5002
	布引の滝 東青山から西青山へ行くハイキングコースの途中にある。東青山駅から徒歩で60分	津市白山町垣内	
	常福寺（別所の観音さん） 津市の寺で「別所の観音さん」と呼ばれる。小さいながらも存在感が強い「千手観音立像@国宝」で、津市瀬戸区より「十一面観音立像@重文」と対なのではと思う所。	津市白山町八対野	059-262-7022
	わかすぎの里キャンプ場 緑の中に点在するウッディバンガローは，ベッド，キッチンを完備しており，快適なアウトドアライフを送れる。アマゴ，マスの釣り堀りや，ナイター完備の多目的運動広場などがあり，近くにはテニスコート，ゴルフ場，プールもある。このほか，オートキャンプ場もある。	津市白山町城立301	059-269-3005
	亀ヶ広桜並木 県道661号 雲出川沿いにあります。桜の時期はたくさんの花見客でにぎわいます。250本の桜	津市白山町二本木	
	成願寺 念仏道場として創建された。成願寺文書が多数ある。創建年代：1494	津市白山町上ノ村	059-262-7022
旧美里村	辰水神社(ジャンボ干支) 辰水神社で行う。大きな干支の置物の奉納。	津市美里町家所 辰水神社	059-279-2782
	美里ふるさと資料館 美里町地域の人々の生活の歴史を伝えるべく、身近な農具や民具などが展示されていたり、民話の映像展示などもされている郷土資料館。昔懐かしい民話に出てくるような風景を展示で再現されており、なぜかホッとするスポット。	津市美里町北長野1445	059-279-3501
	家所城跡 家所城は長野城主・工藤氏祐の三男、家所祐歳によって築かれたと伝わる城です。家所氏が8代200年にわたって居城としましたが、1572年（元龜3年）に家所三河守藤安が織田信長に敗れて戦死し、城も廃城となりました。現在城址には土塁や空堀、石垣などの遺構が良好に保存されており、案内板が建てられています。北側にはかつて家所氏の菩提寺である什心寺がありました。	津市美里町家所	

旧美里村	長野氏城跡 津市美里町桂畑 古来より「城ノ台（しろんだい）」と呼び一段高い台状地を中心に狭い平坦地が階段状にとりまいている。長野城は工藤祐藤によって築かれた城で、伊勢の有力国人・長野工藤氏の居城です。1569年（永禄12年）に織田信長が侵攻すると、信長の弟・織田信包を長野氏の養子として和睦しました。信包は上野城に入ったため、長野城は廃城となりました。現在城址は国の史跡に指定されており、山頂の本丸跡からは太平洋を一望できるほど見晴らしが良いです。
	細野城跡 津市美里町北長野 細野城は長野氏の一族である細野氏によって築かれた城です。細野氏が安濃城を築いて移ると、長野氏が標高540mの山城である長野城から、伊賀街道をまたいだこの城に居城を移したと考えられています。長野氏はここを拠点に国人領主として勢力を拡大しました。西の城・中の城・東の城で構成されており、尾根上には土塁や堀切などの遺構が残っており、1982年（昭和57年）に長野城とあわせて「長野氏城跡」として国の史跡に指定されました。近くの美里ふるさと資料館に「長野氏城跡」のパンフレットが置いてあります。
旧芸濃町	石山観音 津市芸濃町町楠原 石山は奇石がそびえ、巨岩が伏しその岩に40余体の石仏が半肉彫りに刻み出されている。
	石山観音公園 津市芸濃町楠原 三重県 津市 芸濃町 にある石山観音公園内にある石仏で、日本を代表する 摩崖仏 群でもある。一つの巨大な岩からなっており、その岩に約40余りの西国三十三観音や阿弥陀、地藏菩薩など摩崖仏が彫られている
	長徳寺の龍王桜 津市芸濃町雲林院 059-266-2516 樹高3mの低木で盃状の樹形。龍のウロコ伝説が残っている。
	錫杖湖 津市芸濃町河内 農業用利水ダム安濃ダムによって出来た人造湖。湖畔にキャンプ場・宿泊施設・レストラン・公園他がある。
	濃町錫杖湖畔キャンプ場 津市芸濃町河内3666-18 059-265-2019 錫杖湖畔の丘陵の中腹にある
	錫杖湖水荘 津市芸濃町河内679 059-265-2019 和室研修室、多目的ホール、レストラン、1泊2食付きで6,500円からご宿泊いただけます。※2019年10月からの消費増税により料金に変更となっている場合がありますので、詳細は施設へお問い合わせください。
	成覚寺 市芸濃町河内1094 059-265-2410 【平家の落人伝説】源平の合戦という戦いで、源氏に負けた平氏の生きのびた人々が、日本各地に隠れ住みました。これを平家の落人伝説といい、日本各地の山奥などの山村に伝えられています。 芸濃町の河内には、熊野より逃れてきた平維盛という人が移り住んでいたそうです。

旧 芸 濃 町	落合の郷 ニジマスのつかみどり，釣，石の彫刻（別料金）	津市芸濃町河内900	059-265-2019
	椋本の大ムク この大ムクが立っている所は、地名が椋本（津市芸濃町）と言います。昔、伊勢別街道の宿場町（椋本宿）として栄えた所ですね。大ムクがあるために、地名が椋本になったという事は知っていましたが、伊勢別街道の歴史と同じくらいの樹齢だと思っていました。見に行ってみて、樹齢1500年以上であることを知り驚きました。史料によれば「征夷大將軍、坂上田村麻呂の家来の野添大膳父子が、いわれの無い罪で流浪の身となった。810年、伊勢国安濃郡にたどり着いた父子は、この木の下で暮らした。」と記されているそうです。1300年以上昔の話ですが、その頃すでに幹周は9mを超えていたとされます。残念なことに、明治初期の暴風で幹の北側半分以上が裂け落ち、幹周が小さくなってしまったとのこと。現在は樹高18mで幹周7.5m。この事故がなければ、今の倍以上の大きさであったと言われています。それでも、椋の木では全国2位の幹周を誇る国の天然記念物です。新日本名木100選の一つでもあります。	津市芸濃町椋本	
	雲林院城跡 雲林院城は長野城主・長野祐藤の子、祐尊（祐高）を祖とする雲林院氏の居城として知られています。長野氏が織田信長の弟・信包を養子に迎えて降伏したため、雲林院氏も織田氏の配下となりましたが、1580年（天正8年）に信包によって雲林院出羽守父子は追われることとなり、廃城となりました。現在城址には土塁や堀切などの遺構を確認することができます。登城口は林光寺にあります。	津市芸濃町雲林院城山	
	忍田城跡 築城年代は定かではないが、平安時代中期、白河天皇の御代（1072～86年）、忍田入道によって築かれたと云われる。忍田氏は長野氏一族の雲林院氏が来往する前からの地侍であったと云われる。その末裔は美濃守、または平左衛門尉と称し、後に平左衛門尉は藤堂氏に仕えた。安濃川に向けて伸びた標高143mの尾根先端部に築かれている。南側に3段の削平地があり、尾根先端にコの字型の土塁に囲まれた主郭があり、東の土塁は南東に向けて伸びている。背後に深い堀切が残り、50m程北尾根に浅い堀切がある。安濃川を挟んだ、南方約700mに雲林院城がある。	津市芸濃町忍田字城山	
旧 河 芸 町	本城山青少年公園 展望台，日本庭園，アスレチック等設置	津市河芸町上野	
	伊勢上野城 伊勢上野城は織田信長の弟、織田信包が津城の仮城として1570年（元亀元年）に築城しました。「賤ヶ岳の戦い」の後、お市の方の遺児である茶々・初・江の三姉妹はこの城で過ごしたといわれています。現在は、本城山青少年公園となっていて、本の丸跡には展望台が建てられており、2階にある資料室には伊勢上野城の復元模型が展示されています。また展望台からは伊勢湾や鈴鹿連峰を一望することができます。	津市河芸町上野	
	マリーナ河芸 陸域面積99,000m ² /水域泊地面積27,000m ² /保管隻数380隻	津市河芸町東千里854-3	059-245-5001

旧河芸町	芦原海岸 津市河芸町 シロチドリの繁殖地。干潟があり、海浜動植物が生息。			
	御幸城跡 津市河芸町三行字小林 河芸地域を流れる田中川の中流域、国道306号三行交差点から東の標高40mほどの丘にある、三行城跡。この城跡は道路建設や水田整備などによって、当時の姿からは随分形を変えていますが、航空写真や過去の発掘調査の成果等からある程度想像することができます。 かつて三行城には、西に開いた谷を囲むように、郭（曲輪）と呼ばれる1辺が約10～40m前後の平らな区画が複数ありました。郭は主に5つ（三行城実測図中Ⅰ～Ⅴ）に分けられ、それぞれ敵からの防御のため、尾根筋には堀切が設けられていましたが、今は郭Hが残るのみです。 昭和59年に行われた発掘調査では、郭ⅢとⅣでわずかに14世紀代の愛知県渥美半島産の甕や土師器が出土しましたが、土塁や土壇が見つかった他に建物の跡はなく、生活の場というより緊急時の備えのために造られた城とも考えられます。城の構造は比較的簡素で、出土遺物の時期から南北朝時代に造られたことがうかがえます。築城した人物が誰かは分かっていませんが、美里町北長野にある同時代の長野氏城跡とは、規模は異なるもののよく似た構造をしています。 時が流れ戦国時代になると、分部氏がこの一帯を治めるようになります。ただ、分部氏との関わりも含め、永禄・11（1568）年からの織田軍による伊勢侵攻以降も、直接この城に関わる資料は知られておらず、南北朝時代から戦国時代にかけてこの城が果たした役割も、詳しくは分かっていません。			
	秋葉城跡 津市河芸町南黒田字登里 戦国末期に登里の台地に秋葉城という土塁で築いた城があった、亀山の出城であったといわれているが確証はない、1584年蒲生氏郷に敗れ消失した。”標柱から。黒田神社北東の交差点を北西に入った所にある蓮徳寺の西側。			
	矢頭山 津市一志町波瀬 山頂からの眺めがよい。			
旧一志町	矢頭中宮キャンプ場 津市一志町波瀬波瀬出張所059-294-7004 県指定の天然記念物・矢頭の大杉を見上げ、野鳥のさえずりに耳をすます。そんな森林浴が楽しめるキャンプ場だ。丸太小屋で過ごす山の生活は、身も心もリフレッシュさせてくれる。矢頭山（730m）は絶好のハイキングコース。			
	矢頭の大杉 津市一志町波瀬 樹齢約千年の大杉。矢頭の中宮と言われる波瀬神社の奥社の境内にあって、直径約2.7m、樹高約40mの巨木でした。			
	一志温泉やすらぎの湯 津市一志町井関1792059-295-0118 和風浴槽、洋風浴槽の2つの違った雰囲気を楽しむ湯が豊富で良質な温泉。			
	延命寺の石棺 津市一志町井関 三重県文化財指定（考古資料）。境内には、今から約200年前に発見された「石棺」が安置されています。6世紀に作られたもので、ほとんど完全な形をした石棺であることから、県内でも貴重な例として、昭和30年（1955年）に県の文化財に指定されました。			

旧一志町	高岡山公園 津市一志町高野 住宅地の中の少し高台にある公園です。中々景色がいいです。 駐車場も少しですが完備されてます。 小さ目ですが、グラウンドもありますので軽く球技も楽しめます。 小さなお子様向けでしょうか。
	誕生寺(真盛上人誕生地) 津市一志町大仰1916(誕生寺) 059-293-1551 天台真盛宗の開祖「真盛上人」が誕生した地にちなんで、命名されたお寺です。真盛上人の誕生にあたって使われたといわれる『産湯の井戸』があり、、この井戸を中心に寺の境内一帯は、昭和13年（1938年）に、三重県の史跡に指定され、寺宝には、産湯の桶や家系図などがあります。
	とことめの里一志 津市一志町井関1792 059-295-0111 然と万葉のロマンが漂う津市一志町に福祉・健康・教育の活動の拠点「とことめの里一志」があります。 この施設は、地域のみなさんが安心して生活できるための保健福祉施設、緑豊かな自然環境のもとで読書や学習ができる図書館、豊富な湯量と良質の温泉を利用した入浴施設（一志温泉やすらぎの湯）のほか、屋外には自然とふれあうやすらぎの場としてパターゴルフ場や公園などが備えられています。
	上出城跡 津市一志町波瀬字野口 平家没落後も、その一族が源氏の目をのがれ、各地に潜伏し、帰農した者も多かったと伝えられ、一志町波瀬にも平維盛の嫡男六代君（ろくだいぎみ）が住みついたという伝説があります。 六代君が21歳のとき、山羽大監弘平家盛と改め、22歳の時、上出城を築き、家盛が初代城主になったといわれています。 「平家塚」といわれる場所には、第九代照盛、第十代尚盛、第十一代盛房の墓が残されています。 このほか、家盛の御前の墓といわれるものも残されています。
	大仰城跡 津市一志町大仰字城山 築城年代は定かではないが応永年間(1394年～1428年)に小泉藤能によって築かれたと云われる。小泉氏は北畠氏に属していた。藤能の子が天台宗真盛派(天台真盛宗)の祖となる真盛上人である。大仰城は誕生寺の北背後にある比高50m程の山に築かれている。 主郭部は宝篋印塔や観音石仏などが祀られ、その参拝道などによって改変が大きい。 西尾根側が二重堀切であったようで、鞍部から北側山腹に降りた所にお城井戸がある。
旧安濃町	経ヶ峰 津市安濃町（山頂）， 芸濃町 遊歩道が整備されており，伊勢湾の展望がよい
	経ヶ峰展望台 津市安濃町草生 海拔 8 1 9 メートルの経ヶ峰は、春の桜やレンゲツツジ、秋には紅葉が楽しめる手軽なハイキングコースとして親しまれている。登り口はバス停経ヶ峰口、高野出口など 3 カ所にあり、山頂までは約 2 時間。登りきった山頂には展望台があり、ここから眺める伊勢平野の大パノラマは壮大で、気分も爽快になるはず。伊勢平野を一望できる絶景を求めてハイキング

旧 安 濃 町	松原寺(聖徳太子立像) 太子2歳の南無仏像で鎌倉時代の頃の作と推定される。	津市安濃町連部217	059-268-2155
	比佐豆知菅原神社 菅原道真を祀り、3月25日には天神祭の神事がある。	津市安濃町草生 2419	059-268-3878
	安濃中央総合公園 子どもたちに人気の城壁や木製遊具・親水エリアを備え、天然芝を敷きつめた広大な芝生広場のほか、体育館、野球場、ゲートボール場、多目的グラウンドを有する総合公園。	津市安濃町田端上野818	059-268-0100
	善福寺(毘沙門天立像) 平安時代後期の慈恵大師の作。町内の仏像の中でも最も優れた作品。	津市安濃町連部217	059-268-1178
	太田区公民館(阿弥陀如来坐像) 平安時代後期の作で、高さ約1.5m。髷を高く結い上げて宝冠を戴き、体色が赤いのが特徴です。精巧な造りです。	津市安濃町太田55 太田区公民館	059-268-3339
	明合古墳 双方中方墳。全国唯一の形式で主墳と陪塚5つあり。	安濃町田端上野	
	孝女登世の墓 粉骨孝養の美談が秘められた由緒ある墓。	津市安濃町連部	
	安濃城跡 安濃城は伊勢で最大規模といわれるほどの堅城で、長野城主・長野氏の一族である細野藤光によって築されました。細野氏はもともと細野城を居城としていましたが、藤光の代にこの城に居城を移し、その子の藤敦が城を拡張しました。1568年（永禄11年）に織田信長が伊勢に侵攻すると、藤敦は徹底抗戦を主張して、滝川一益の攻撃を退けますが、藤敦の弟で分部氏を継いでいた分部光嘉らの策略により臣従することになります。藤敦は1580年（天正8年）に反旗を翻しますが、信包に攻められ落城したのちは蒲生氏郷の家臣となり、蒲生氏滅封後は豊臣秀吉に仕えています。現在城址には阿由多神社が建てられており、土塁や空堀などの遺構を確認することができます。	津市安濃町安濃字城山	
旧香 良洲 町	草生城跡 草生城は長野工藤氏の一族、草生氏によって築かれた城です。長野城の支城でしたが、織田信長の伊勢侵攻により、同族の細野藤光が守る安濃城が落城すると、草生氏も信長の配下になったと考えられます。なお草生氏のの子孫はのちに津藩主の藤堂氏に仕えました。現在城址には堀切や高土塁などの遺構が良好な状態で残っており、県道28号沿いの登城口に案内坂が建てられています。	津市安濃町草生	
	香良洲神社 祭神は天照大神の妹神・天稚日女命。	津市香良洲町3675	059-269-6800
	香良洲海岸	津市香良洲町	

旧 香 良 洲 町	香良洲町歴史資料館（若桜会館） 津市香良洲町6320番地 059-292-2118 海軍航空隊通称“予科練”のあった地で、その遺品や資料を展示。香良洲海水浴場のすぐ近く。館の女性によると、昔、このあたりに飛行訓練場があって、東海地方の38,000人の若者たちが予科練として志願してきたそうです。3階には亡くなった10代後半から20代前半の青少年たちの遺影・プロフィールがずらっと飾られています。戦死の他に、訓練中・作戦中に殉死した方も多くいた事実には、自分もダメージを受けました。公式文書を展示しているところでは、米軍が、各都市を空爆する前にまいた避難を呼びかけるビラからは、終戦前の国民の動揺、憔悴感が思い起こされます。無料のきれいな施設で、他にも貴重な展示品がたくさん。
	香良洲浦海岸 津市香良洲町 汐干狩。たて干し。水のきれいな海水浴場。
	香良洲海岸海水浴場 津市香良洲町 伊勢の海県立自然公園の南端に広がる白砂青松の美しい浜辺は遠浅で海岸線が約2キロにわたって続いています。春から夏のシーズン中は潮干狩やたてぼし・海水浴などに大勢の家族連れが訪れます。
旧 美 杉 村	美杉リゾート INAKA TOURISM 津市美杉町八知5990 059-272-1155 夜は満天の星空。朝は鳥たちの歌声で目覚める。美杉町は東海圏で初めて森林セラピー基地に認定された、自然がとても豊かな町です。自然や田舎の特性を生かした、ここでしかできない体験「Inaka Tourism」も提供しており、様々なニーズのお客様にお楽しみ頂けます。美肌泉質の火の谷温泉、森の露天風呂、美杉町や三重県の旬を活かした料理と共に、ゆったりとした時の中でおくつろぎ下さいませ。
	火の谷温泉 津市美杉町八知 059-272-1155 夜は満天の星空、朝は鳥たちの歌声で目覚めます。美杉町は東海圏で初めて森林セラピー基地に認定された、生理的、心理的にリラックスできる森がある、自然がとても豊かなところです。周りに歓楽街などは一切無く、子連れでも安心できます。
	ファイアバレイウォーターパーク 津市美杉町八知5990 059-272-1155 自然の中で混みすぎることなく、夏休みでもゆったりと満喫しました。浮き輪スライダーも爽快で滑り放題、浮き輪なしスライダーもとっても楽しくちょうどいい怖さでおすすめです。二人乗り用もあります。ちゃんと監視員のお兄さんたちがみててくれますし、安心して楽しむことができ、コスパはかなりよいかと思いました。流れるプールも空いているので自由に流れに逆らったり気ままに遊びました。売店でいろいろ家族分購入しましたが、らーめんが私は気に入りました。その坂の上には美杉リゾートホテルがあり、宿泊したのでホテルのプールをまた楽しみ、温泉につかり、さっぱりしてら帰れたのが、大変贅沢でした。
	北畠氏館跡 津市美杉町上多気1148 北畠氏館は伊勢国司・北畠顕能によって築かれた居館です。西背後には北畠氏館詰城（標高414m）と霧山城（標高560m）が控えており、これらすべてで『多気城』を構成しており、顕能から具教まで北畠氏8代にわたる本城でした。1576年（天正4年）、養子に迎えた織田信長の次男・信雄に北畠具教が暗殺された際に落城し、そのまま廃城となりました。現在跡地には北畠神社が建立されており、国の名勝に指定されている庭園は三大武将庭園、日本名園五十撰に数えられています。

	北畠神社	津市美杉町上多気1148	059-275-0615
	奥一志の多気御所として栄華を誇った伊勢国司の祖を祀る。境内にある庭園がすばらしい。		
	北畠氏館跡庭園	津市美杉町上多気	
	現存する南北朝時代の代表的な庭園で、名勝、史跡に指定されている。野性的なこの庭園は当時の地方豪族の美的感覚を表わし、往時の面影を偲ばせている。日本三大武将庭園。公家でありながら戦国大名でもあった北畠氏の庭園だけに、雅さと荘厳さとを兼ね備えています。楓が赤く色づいた風景を想像すると、11月にも来なければと思ってしまいます。		
	三多気のサクラ	津市美杉町三多気	
	雲出川と淀川の分水する室生火山群随一の麗峰大洞山の優雅な曲線美をバックに、蔵王権現の歴史的雰囲気が織なして「桃源の夢」をしのばせるさくらの名勝地。国道から真福院を結ぶ1.5kmの参道の両脇にはさくらの古木が列をなす。		
	君ヶ野ダム	津市美杉町八手俣	
	雲出川支川の八手俣川をせき止めた多目的ダムで、春にはダム湖畔に約2千本の桜が咲く。		
	川上山若宮八幡神社	津市美杉町川上3499	059-274-0157
	仁徳帝と同后岩野姫の徳を敬慕して創祀されたと伝		
	ヒストリーパーク塚原オートキャンプ場	津市美杉町下之川2820-2	059-276-0589
	自然豊かな津市美杉町下之川にあるオートキャンプ場です。広大な敷地内に川が流れ、ゆったりサイズのキャンプサイトも50区画あり、釣りやバーベキューも楽しむことができます。子供用の遊具も整備されており1日中大人も子供のお楽しみいただくことができます。気の合う仲間やファミリーで大自然を満喫してください。プランクバーベキューがお楽しみいただけるのも特徴です。プランクバーベキューとは・・・杉板の上で食材を焼き上げることで手軽にスモーキーフレーバーをお楽しみいただくことのできる欧米で人気のBBQの新しいスタイル。		
	君ヶ野ダム公園	津市美杉町八手俣	君ヶ野ダム管理室 059-262-3248
	大自然とダム湖の雄大な景観はすばらしいものである。梅林，小遊園地，ハイキングコースあり。 毎年春には、「君ヶ野ダム公園桜まつり」が開催される。		
	真福院	津市美杉町三多気204	059-274-0716
	室町時代の作と推定される木彫蔵王権現像あり。平安末期より霊場として在原業平・平清盛などが参籠。創建は600年代後半で、平安時代に平清盛も籠って修業をしたとされる、とても歴史のある寺院です。参道の石段を上がって行くと、その歴史を確かに感じる古木や苔むした石垣があり、古刹という呼び方がピッタリする寺院です。また、里から続く参道は桜並木になっていて、桜の季節には沢山の観光客が押し寄せます。		
	美杉ふるさと資料館	津市美杉町上多気1010	059-275-0240
	美杉村とゆかりの深い伊勢国司、北畠氏の古文や鎧などの資料と、この地で昔から使われていた農具などを展示している資料館。隣接する「創作館」では、美杉ブランドの杉を使って木工作品を作る「焼き杉教室」が開かれ、子供たちに人気。そんな子供たちがデザインした本棚などの作品も、館内で展示されている。		

健康の郷 美杉	津市美杉町八知	美杉総合支所 地域振興室	059-272-8082
東海地方で初めて「森林セラピー基地」として認定され、平成21年秋のグランドオープンしました。森林セラピーとは、森林の持つ癒しの効果を活かし、ストレス緩和や健康維持・増進に活かすための取り組みで、現在全国で31ヶ所が認定を受けています。 利用ニーズに合わせた特色の違う8つのコースを森林セラピーロードとして設置。木漏れ日の中でコース散策を自由に楽しみながら、都会では味わうことのできない森林の癒しを五感で体験することができます。			
美杉ビレッジ	津市美杉町八知		059-272-1155
テニスコート，体育館，研修室等。			
清流の里ぬくみ	津市美杉町多気		059-275-0047
街道沿いに、オフロードランド美杉より立川の上流方向へ少し進むと、「清流の里ぬくみ」の建物があります。夏場は山深くのコテージや合宿所として賑わうのですが、さすがに晩秋では閉鎖されているようでした。街道から施設に行くには立川の溪流を橋で渡りますが、その付近の溪流が実に美しいのです。			
スカイランドおおぼら	津市美杉町八知7956-1		059-272-1138
高原。天文台，パターゴルフ場。			
美し郷霧山	津市美杉町上多気		059-275-0240
ふるさと資料館，フィールドアスレチック，創作館（焼杉体験），遊歩道，キャビン（3棟・15名）ここに平成初期まであった旧美杉村立多気小学校の跡地に造成されたのが美し郷・霧山です。山門のようなゲートの場所には、昔は校門があったのでしょうか。「津市森林セラピー基地 多気北畠拠点施設 津市ふるさと資料館」の表示が出ています。開設当初は、様々なアトラクションが設けられていて利用料が必要なものもあったようです。現在は入園無料で、公園と資料館のみの施設となっているようです。でも、森林セラピー基地って、どんなだったのでしょうかね。			
国津神社(石造十三重塔)	津市美杉町太郎生1929		059-273-0083
国津神社境内にある鎌倉後期の石造美術を代表する石塔で，重要文化財に指定されている。			
国津神社	津市美杉町太郎生1929		059-273-0083
元文元年，勧請した出雲大社の分霊で国津大明神又は三社宮と称えられている。			
国津神社の大ケヤキ	津市美杉町太郎生		
このケヤキの巨木は幹から2本に分かれており，太い方は，目通り周囲7m，細い方は3.7mもある。三重県では最も古いケヤキだそうです。樹高30mもあります。			
日神石仏群	津市美杉町太郎生		
日神仲善寺の西方基地に混成し，鎌倉末期から室町初期の弥陀，薬師地蔵等の立象が並んでいる。			
赤松塚	津市美杉町丹生俣		
山腹の茶園の中の石壇の上に五輪塔がある。			

旧美杉村

霧山城址	津市美杉町上多気		
この地は吉野と伊勢神宮のほぼ中間で、まわりを険しい山で囲まれた小盆地である。北畠親房の子顕能が盆地中央の山麓に居館を建て、標高560m、眺望雄大な山頂に霧山城を築いた。以後、八代具教まで北畠氏の本拠であった。天正4年（1567）具教が死ぬと、この城も焼き払われた。			
日神溪谷	津市美杉町太郎生		
秋の紅葉はすばらしいものである。ちょっと奥に入って行きましたが日神溪谷の滝			
池ノ平高原	津市美杉町太郎生		
火山湖を想わせる高原でレンゲ、ツツジ、ススキの名所。			
大吉アマゴセンター	津市美杉町川上2591	059-274-0612	059-274-0507
津市美杉町名松線伊勢奥津駅近くから入る県道695号線を進むと、川上山若宮八幡宮への参道と大吉方面へと別れる道があり、右側（橋のある方）へ3km進んでいただいたところに大吉はあります。森林と川から発生するマイナスイオンで身も心もリフレッシュ！美味しいアマゴとマス料理でお腹も気分も大満足！雲出川水系坂本川の綺麗な水で育ったアマゴとマスの塩焼き・刺身・唐揚げをご堪能ください。 安全な人工溪流でのつかみ取り、釣り、川遊び、森林浴等、大人も子供も楽しさいっぱいのひとときをお過ごしいただけます。（団体様は、伊勢奥津駅まで無料送迎あり）			
霧山城址	津市美杉町上多気		
霧山城は伊勢の戦国大名・北畠氏の居城として有名です。伊勢と大和を結ぶ街道沿いに位置する難攻不落の山城で、北畠氏9代が240年に渡って支配しましたが、織田信長の軍勢である羽柴秀吉・神戸信孝・関盛信らの攻撃によって落城させられました。城跡は山麓の北畠氏館（現・北畠神社）とあわせて「多気北畠氏城館跡」として国の史跡に指定されています。			

参考資料サイト「じゃらん津市の観光スポット」「Wikipedia」「城郭放浪記」「攻城団」「Yahoo!ロコ」「広報津」「近くの城址」「山城遺産」「レッ津ゴー旅ガイド」等による